

第39回原産年次大会

わが国の原子力産業の基盤強化と再活性化——未来のために、今なすべきこと

開会セッション

4月26日(水) 14:00~15:00

議長：金井 務 (社)日本原子力産業協会 副会長、(株)日立製作所 相談役

原産協会会長所信表明

西澤 潤一 (社)日本原子力産業協会 会長

経済産業副大臣所感

松 あきら 経済産業副大臣

文部科学大臣所感

小坂 憲次 文部科学大臣

(代読) 森口 泰孝 文部科学省 研究開発局長

科学技術政策担当大臣所感

松田 岩夫 科学技術政策担当大臣

(代読) 塩沢 文朗 内閣府 大臣官房審議官(科学技術政策担当)

特別講演

4月26日(水) 15:15~18:00

議長：鷺見 禎彦 (社)日本原子力産業協会 理事、
日本原子力発電(株) 相談役

「原子力再活性化への IAEA の使命

——原子力技術、安全、セキュリティ、保障措置——」

谷口 富裕 国際原子力機関(IAEA) 事務次長

「原子力カルネッサンスの促進——世界の持続的発展にむけた不可欠な挑戦」

J. リッチ 世界原子力協会(WNA) 事務局長

「米国の原子力カルネッサンス：今日、そして将来」

A. ハワード 米原子力エネルギー協会(NEI) 副理事長

「原子力カルネッサンスにかける大きな期待」

P. プラデル 仏原子力庁(CEA) 原子力開発局長

「国際原子力エネルギーパートナーシップ(GNEP)」

V. レイス 米エネルギー省(DOE) 長官付上級顧問

レセプション

4月26日(水) 18:15~19:30

(ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル 3F 「ボール・ルーム」)

【セッション1は、原産協会発足を契機として、原産協会および原子力産業界が、原子力産業の基盤強化と再活性化のために決意と行動計画を明らかにする。】

セッション1 4月27日(木) 9:30~12:30

踊り場に立つ原子力産業——新たな飛躍への挑戦

原子力開発が軽水炉の利用等で成熟期を迎える一方で、今日の原子力産業は、他のエネルギー産業に比べ、競争力や社会の信頼感の低下という面で大きな問題を抱えている。このように、現在踊り場にあるわが国の原子力産業の基盤強化と再活性化のために、産業界関係者は一体となって行動することが必要である。

このセッションでは、わが国の原子力開発50年の歴史を総括したうえで、新たな飛躍を目指すべき原子力産業のため、関係機関の役割を明らかにし決意等を示すとともに、その一翼を担う原産協会が果たすべき使命などを考える。

議長：鳥井 弘之 (社)日本原子力産業協会 理事、東京工業大学 教授

第1部：講演の部 (9:30~10:30)

「踊り場に立つ原子力産業——果たした役割と残された課題」

秋元 勇巳 (社)日本経済団体連合会 資源・エネルギー対策委員会
委員長、三菱マテリアル(株) 名誉顧問

「民間原子力産業界の新たな飛躍の途を拓く原産協会
——50年の歴史を糧に新たな使命を担って」

宅間 正夫 (社)日本原子力産業協会 副会長

第2部：パネル討論の部 (10:30~12:30)

「原子力の新たな飛躍への決意と原産協会に求めるもの」

[パネリスト]

伊藤 隆彦 電気事業連合会 原子力開発対策委員会 委員長、
中部電力(株) 副社長

兒島 伊佐美 日本原燃(株) 社長

齊藤 莊藏 (社)日本電機工業会 原子力政策委員会 委員長、
(株)日立製作所 執行役専務

殿塚 猷一 (独)日本原子力研究開発機構 理事長

◆ 議長総括

【セッション2は、原産協会活動の3本柱のひとつである「情報発信」の視点からの構成とする。ダイナミックな展開が注目される海外諸国から講演者を迎え、生の情報を伝える。あわせて、海外機関等のステークホルダーからの意見を「聴く」場としても活用する。】

セッション2

4月27日(木) 14:15~17:15

ダイナミズムを見せる世界の原子力、そこから見た日本への期待

地球温暖化の問題や、アジア地域を中心とするエネルギー消費の拡大および原油価格の高騰等を背景として、世界で環境・資源の両面から原子力に注目が集まっている。アジア地域では電力需要の大幅増加が予測される国々で原子力の導入・拡大が活発化し、これに呼応するように欧米諸国の原子力産業が積極的な動きを見せている。

このセッションでは、諸外国の関係者が、それぞれの原子力活動のダイナミックな展開を紹介するとともに、海外から見た日本の原子力の姿および日本への期待についても論じてもらい、わが国の原子力産業の再活性化を果たすための示唆を得る機会とする。

議長：新井 光雄 ジャーナリスト、元 読売新聞編集委員

講演

「国際的な流れの中での日本の原子力政策の方向性」

柳瀬 唯夫 経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部
原子力政策課長

講演と意見交換

「インドにおける原子力発電の現状と展望」

S. ジャイン インド原子力発電公社 社長

「英国における原子力と廃止措置——NDAと国際入札」

R. ゴーラム 英原子力廃止措置機関(NDA) 競争入札担当部長

「外から見た日本の原子力の姿」

谷口 富裕 国際原子力機関(IAEA) 事務次長

◆ 議長総括

【セッション3は、原産協会活動の3本柱のひとつである「規制合理化への対応」を取り上げ、議論を進めることとし、その結果を今後の協会活動に取入れることをねらう。】

セッション3

4月28日(金) 9:30~12:30

世界最高水準の安全確保と更なる検査制度の改善の方向性

原子力発電は、最高水準の安全性を確保しつつ、安定的な電力供給の実現により、その特性が社会に還元されることが重要である。そのためには、科学的・合理的な根拠を重視した均衡のとれた規制制度の構築や、そのもとでの既設発電所の最大限の活用をめざした事業者の保安活動など、関係各方面による不断の努力が重要である。

このセッションでは、原子力をとりまく規制制度等の現状をレビューしつつ、最高水準の安全確保と、検査制度の改善による高度化された規制の姿について議論を交わし、その意義に対する社会の理解促進方策についても探ることとする。

議長：中村 政雄 科学ジャーナリスト

[パネリスト]

相澤 清人	(独)日本原子力研究開発機構 特別顧問
石川 迪夫	日本原子力技術協会 理事長
関村 直人	東京大学 大学院 工学系研究科 教授
武黒 一郎	東京電力(株) 常務取締役 原子力・立地本部長
広瀬 研吉	経済産業省 原子力安全・保安院長

[コメンテーター]

A. ハワード 米原子力エネルギー協会(NEI) 副理事長

◆ 議長総括

【セッション4は、原産協会活動の3本柱のひとつである「政策提言」に資することを目的に、わが国に原子カルネッサンスの波を引き起こすために各セクターがなすべきことについて、さまざまな立場からの意見表明および検討を行い、その内容の協会活動への反映をはかる。】

セッション4 **4月28日（金）14:00～17:00**

日本に原子カルネッサンスの波を引き起こす

欧米諸国において、原子力発電はかつての低迷の時期を脱し、原子力政策推進への転換や新規発電所建設へのインセンティブ付けなどの措置が取られるなど、いわゆる原子カルネッサンスの時期を迎えている。一方、わが国においては昨年10月、原子力政策大綱が閣議決定し、原子力開発利用の針路が定められたものの、社会からの信頼回復の途上にあることも含め、今後本格的な原子カルネッサンスの波の到来が待たれるところである。

このセッションでは、地方自治体や民間等の関係者から、これからの原子力にかける夢とその実現への展望等について発表してもらい、わが国に本格的な原子カルネッサンスの波を引き起こすには、何をいまなすべきか、を探る。

議長：伊藤 範久 電気事業連合会 専務理事

講演と意見交換

「生命科学分野における放射性核種の有効利用」

石岡 典子 (独)日本原子力研究開発機構 高崎量子応用研究所
量子ビーム応用研究部門 研究副主幹

「エネルギー安定供給への原子力の貢献」

加藤 之貴 東京工業大学 原子炉工学研究所 助教授

「原子力と共生のまちづくり」

小谷 隆亮 大洗町長

「原子力エネルギー利用の将来展望」

田中 治邦 電気事業連合会 原子力部長

「Atoms for Peace, Peace by Atomの実現を」

喜多 智彦 (社)日本原子力産業協会 情報本部 マネージャー

◆ 議長総括

大会ステートメント

石塚 昶雄 (社)日本原子力産業協会 常務理事

日本原子力学会 学生連絡会 主催

学生セッション『原子力産業への期待、若い世代から』

4月27日(木) 12:45~14:00

パシフィコ横浜 3F ラウンジ

原子力カルネッサンスの到来が期待される昨今、原子力を専攻する学生としては、原子力界が魅力的なものであってほしいとの思いがあり、原子力産業界の方々へわれわれの声を届け、どのように応えていただけるのかを伺うことを希望している。

このセッションでは、原子力専攻の学生から原子力産業界への期待や率直な意見を投げかけ、原子力界で働く若い世代の方々から、現状や将来の夢などについて語っていただくとともに、フロア参加者との意見交換を行う。

[参加大学]

九州大学 近畿大学 神戸大学 筑波大学 東海大学 東京工業大学
東京大学 東北大学 福井大学 北海道大学 武蔵工業大学

[企業・機関パネリスト]

上原 大助 (株)アトックス 技術開発部
富田 邦裕 東京電力(株) 原子力・立地業務部
プロジェクト管理グループ
野田 貴史 三菱重工業(株) 原子力技術センター 炉心技術部
熱水力・炉構造技術課 主任
矢野 公彦 (独)日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター
核燃料サイクル工学研究所 サイクル工学試験部 技術課

[司 会]

羽倉 尚人 武蔵工業大学 大学院 工学研究科 修士2年
原子炉工学研究室

以 上